

〈特集「ヴォイスとその周辺」〉

キルギス語

アクマタリエワ ジャクシルク

(1a) 《風などで》ドアが開いた。

Ešik ač-ıl-dī.

ドア 開く-PASS¹-PST1

(1b) (彼が) ドアを開けた。

Al ešik-ti ač-tī.

彼 ドア-ACC 開く-PST1

(1c) 入口のドアが開けられた。

Kire beriš-tin ešig-i ač-ıl-dī.

入口-GEN ドア-3:POSS 開く-PASS-PST1

キルギス語における自動詞、他動詞は形の上で区別される。例えば、上の例でいうと、ač-ıl-「開く(あく)」は自動詞であり、ač-「開ける」は他動詞である。つまり、ač-ıl-「開く(あく)」は、ač-「開ける」から派生している。

(2) 私は(自分の)弟を立たせた。

Men ini-m-di tur-guz-du-m.

私 弟-1SG:POSS-ACC 立つ-CAUS-PST1-1SG

(3) 私は(自分の)弟に歌を歌わせた。

Men ini-m-e ır ırda-t-tī-m.

私 弟-1SG:POSS-DAT 歌 歌う-CAUS-PST1-1SG

キルギス語には、arkıluu mamileと言われるものがあり、日本語に訳すと「使役態」にあたる。キルギス語のarkıluu mamile「使役態」は、以下のような接尾辞によって形成される。例えば、-dīr, -kız, -ır, -ız, -t などである。これらのうち、最も基本的、かつ生産的な接尾辞は、-dīr と-t である。

上の(2)の例では、-kız 使役接尾辞が使われており、tur-guz-「立たせる」になっているが、

¹ ač-ıl-の場合、グロスでは、PASS を入れて示すが、PASS を入れない立場も存在する。

(3)の例では、-t 使役接尾辞が使われており、irda-t-「歌わせる」になっている。

(4a) 《遊びたがっている子供に無理やり》母は子供にパンを買いに行かせた。

Ene-si bala-sī-n nan sat-īp kel-geni jiber-di.
母-3:POSS 子供-3:POSS-ACC パン 買う²-CVB 来る-CVB 送る-PST1

(4b) 《遊びに出たがっているのを見て》母は子供を遊びに行かせた。

Ene-si bala-sī-n oyno-gonu jiber-di.
母-3:POSS 子供-3:POSS-ACC 遊び-CVB 送る-PST1

これらの例では、使役表現が使用されない。目的を表わす副動詞-gani「～するために」が使われるのが一般的である。

(5a) 私は弟に服を着せた。

Men ini-m-e kiyim kiy-giz-di-m.
私 弟-1SG:POSS-DAT 服 着る-CAUS-PST1-1SG

(5b) 私は弟にその服を着させた。

Men ini-m-e ošol kiyim-di kiy dep ayt-ti-m.
私 弟-1SG:POSS-DAT その 服-ACC 着る と 言う-PST1-1SG

(5b)の文は、キルギス語の場合、使役表現を使って表現できない。キルギス語の文を日本語に直訳すると、「私は弟にその服を着なさいと言った」になる。

(6) 私は弟にその本をあげた。

Men ini-m-e ošol kitep-ti ber-gen-min.
私 弟-1SG:POSS-DAT その 本-ACC 与える-PST2-1SG

(7a) 私は弟に本を読んであげた。

Men ini-m-e kitep-ti oku-p ber-di-m.
私 弟-1SG:POSS-DAT 本-ACC 読む-CVB 与える-PST1-1SG

² sat-の語彙的な意味は、「売る」であるが、ここで satip kel-は「買って来る」という意味を表わしている。

(7b)兄は私に本を読んできた。

Ini-m maga kitep-ti oku-p ber-di.
弟-1SG:POSS 私(DAT) 本-ACC 読む-CVB 与える-PST1

日本語の「V-て あげる」, 「V-て くれる」を表わす形式にあたるものとして, キルギス語には, V-p ber-形式が存在する. この形式は, 恩恵の受け手が1人称, 2人称, 3人称いずれの場合も用いられる.

(7c) 私は母に髪の毛を切ってもらった。

Men apa-m-a čač-īm-dī kīrk-tīr-īp al-dī-m.
私 母-1SG:POSS-DAT 髪-1SG:POSS-ACC 切る-CAUS-CVB 取る-PST1-1SG

また, 日本語の「V-て もらう」に対応するものとして, V-CAUS-p al-形式がとりあげられる. これは, 主語である使役主が自分のためにある動作を他者にやらせ, そして, 他者のその動作によって使役主自身が利益や恩恵を受けるという意味を表わす用法である.

なお, V-CAUS-p al-形式には(7c)と異なる用法も存在する. 詳しくは, (13b), (13c)を参照.

(8a) 私は(自分の)体を洗った。

Men juu-n-du-m.
私 洗う-REFL-PST1-1SG

キルギス語には, 自分の動作が自分自身に働きかけ, 自分自身の状態になんらかの変化をもたらす再帰的な意味をもつ動詞が存在する. これらは, 動詞の語幹に再帰を表わす接尾辞-inがつくことによって形成される. 例えば, kiy-in-「着る」, juu-n-「洗う」, tag-īn-「しめる」などがあげられる.

典型的な再帰動詞は(8a)のように目的語をとらない. 但し, キルギス語には次の例のように目的語をとる再帰動詞も存在する.

Al dayīma galstuk tag-īn-īp jūr-ō-t.
彼 いつも ネクタイ つける-REFL-CVB 動く -PRES-3
彼はいつも(自分の体に)ネクタイをしている.

(8b) 私は手を洗った.

Men kol-um-du juu-du-m.
私 手-1SG:POSS-ACC 洗う-PST1-1SG

(8c) 彼は(その人は)手を洗った.

Al kol-u-n juu-du.
彼 手-3:POSS:ACC 洗う-PST1

(9) 私は(自分のために)その本を買った.

Men ošol kitep-ti sat-ïp al-dï-m.
私 その 本-ACC 売る-CVB 取る-PST1-1SG

キルギス語の場合、「自分のために」という意味は、補助動詞の al-を用いて表現される。例えば、上の例文のように「自分のために買う」場合、sat-ïp al-dï-m になり、「他の人のために買う」場合、次の例のように sat-ïp ber-が使われる。

Men aga ošol kitep-ti sat-ïp ber-gen-min.
私 彼(DAT) その 本-ACC 売る-CVB 与える-PST2-1SG
私は彼にその本を買ってあげた.

(10) 彼らは(その人たちは)(互いに)殴り合っていた.

Alar mušta-š-ïp jat-iš-kan.
彼ら 殴る-RECIP-CVB 横たわる-RECIP-PST2

(11) その人たちは《みな一緒に》町へ出発した.

Alar šaar-ga jönö-š-tü.
彼ら 都会-DAT 出る-RECIP-PST1

これらの例文では、動詞の語幹に接尾辞-ışがつくことによって、ある動作を複数の人が相互に行うこと(10)、そして、一斉に共同で行うこと(11)を表わす。グロスでは、両方の意味を区別せず、RECIP で示す。

(12) その映画は泣ける(その映画を見ると泣いてしまう).

Bul kino meni ÿyla-t-tï.
この 映画 私(ACC) 泣く-CAUS-PST1

(13a) 私は卵を割った。

Men jumurtka-ni jar-di-m.
私 卵-ACC 割る-PST1-1SG

キルギス語の場合、対象物によって、動詞「割る」が異なる。「卵を割る」場合、jar-という動詞が使われるが、「ガラスやコップなどを割る」の場合、sin-という動詞が使われる。

(13b) 《うっかり落として》私は卵を割った（割ってしまった）。

Men jumurtka-ni jar-dir-ip al-di-m.
私 卵-ACC 割る-CAUS-CVB 取る-PST1-1SG

(13c) 《うっかり落として》私はコップを割った（割ってしまった）。

Men stakan-di sin-dir-ip al-di-m.
私 グラス-ACC 割る-CAUS-CVB 取る-PST1-1SG

(13b) , (13c)の例文では(7c)の場合と異なり、V-CAUS-p al-形式が、動作主自身の意図的ではない行為が被害をもたらす、悪い状況を表わす。

(14a) きのう私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）眠れなかった。

Kečee men kofe köp ič-ip al-ip, ukta-y al-gan jok-mun.
昨日 私 コーヒー 多 飲む-CVB 取る-CVB 寝る-CVB 取る-PST2 無-1SG

(14b) きのう私は仕事がたくさんあって（たくさんあったので）眠れなかった。

Kečee jumuš köp bol-gon-duk-tan, ukta-y al-gan jok-mun.
昨日 仕事 多 なる-PST2-duk-ABL 寝る-CVB 取る-PST2 無-1SG

(15) 私は頭が痛い。

Men/ Menin baš-ım ooru-p jat-a-t.
私/私(GEN) 頭-1SG:POSS 痛む-CVB 横たわる-PRES-3

ここでは、men「私」とmenin「私の」のいずれも使うことができる（但し、述語動詞は3人称になる）。つまり、キルギス語の場合、二重主語構文が可能である。以下の(16), (18a), (18b)も同様である。

(16) あの女性は髪が長い.

Al kiz/ kiz-din čač-i uzun.
あの 女/女-GEN 髪-3:POSS 長い

(17a) 彼は（別の）彼の肩を叩いた.

Al anin iyin-i-n čapkıla-dı.
彼 彼(GEN) 肩-3:POSS-ACC 叩く-PST1

(17b) 彼は（別の）彼の手をつかんだ.

Al anin kol-u-nan karma-dı.
彼 彼(GEN) 手-3:POSS-ABL つかむ-PST1

(18a) 私は彼がやって来るのを見た.

Men al/ anin kel-e jat-kan-ı-n kör-dü-m.
私 彼/彼(GEN) 来る-CVB 横たわる-PART-3:POSS-ACC 見る-PST1-1SG

(18b) 私は彼が今日来ることを知っている.

Men al/ anin бүгүн kel-er-i-n bil-e-m.
私 彼/彼(GEN) 今日 来る-PART-3:POSS-ACC 知る-PRES-1SG

(19) 彼は自分（のほう）が勝つと思った.

Al men/ öz-ü jeŋ-e-m dep oylo-gon.
彼 私/自分-3:POSS 勝つ-PRES-1SG と 思う-PST2

(20a) 私は（コップの）水（の一部）を飲んだ.

Men stakan-da-gı suu-dan ič-ti-m.
私 グラス-LOC-gı 水-ABL 飲む-PST1-1SG

(20b) 私は（コップの）水を全部飲んだ.

Men stakan-da-gı suu-nu ič-ti-m.
私 グラス-LOC-gı 水-ACC 飲む-PST1-1SG

部分的に及ぶ動作を表現する場合, (20a)のように奪格 *suu-dan* が使われる. しかし, 全体に及ぶ動作を表現する場合, (20b)のように対格 *suu-nu* が使われる.

(21) あの人は肉を食べない。

Al et je-be-y-t.
彼 肉 食べる-NEG-PRES-3

(22a) 今日は寒い。

Bügün suuk.
今日 寒い

(22b) 私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。

Bügün maga suuk-tay sez-il-e-t.
今日 私(DAT) 寒い-MOD 感じる-PASS-PRES-3

(23) 私は人がとても多いのに驚いた。

Men kiši köptüg-ü-nö tañ kal-dī-m.
私 人 多い事-3:POSS-DAT びっくりする-PST1-1SG

(24) 雨が降ってきた。

Jaan jaa-p kir-di/ jiber-di.
雨 降る-CVB 入る-PST1/送る-PST1

この場合、kir-「入る」、jiber-「送る」³という二つの補助動詞が使われる。これらのいずれの場合も、「動作の開始」を表わす。

(25) その本は良く売れる。

Ošol kitep jakši sat-ıl-a-t.
その 本 良い 売る-PASS-PRES-3

³ 括弧内は本動詞としての意味である。

略号

ABL 奪格	PRES 現在
ACC 対格	PST1 確定過去
CAUS 使役	PST2 不明過去
CVB 副動詞	PL 複数
DAT 与格	REFL 再帰
LOC 位格	RECIP 相互
MOD モダリティ	Q 疑問辞
NEG 否定	SG 単数
PART 形動詞(分詞)	1 一人称
PASS 受身	2 二人称
POSS 所有接尾辞	3 三人称

翻字法

Aa=Aa, Бб=Bb, Вв=Vv, Гг=Gg, Дд=Dd, Ее=Ee, Ёё=Yo yo, Жж=Jj, Зз=Zz, Ии=Ii, Йй=Yy, Кк=Kk, Лл=Ll, Мм=Mm, Нн=Nn, н=η, Оо=Oo, Өө=Öö, Пп=Pp, Рр=Rr, Сс=Ss, Тт=Tt, Уу=Uu, Үү=Üü, Фф=Ff, Хх=Xx, Цц=Cc, Чч=Čč, ь (硬音符) =', Шш=Šš, Щщ=Šč šč, Ыы=ÿ, ь (軟音符) =', Ээ=Êê, Юю=Yü yu, Яя=Ya ya

参考文献

- Zaxarova, O.B. 1987. *Grammatika kirgizskogo literaturnogo yazyka* (キルギス語の標準語の文法). Frunze: Ilim.
- Kudaybergenov, S. 1980. *Kirgiz adabiy tilinin grammatikasi* (標準キルギス語文法). Frunze: Ilim.
- Davletov, S. & Kudaybergenov, S. (1980) *Azirkı kirgiz tili. Morfologiya* (現代キルギス語. 形態論). Mektep, Frunze.
- Yudaxin, K. K. 1965. *Kirgizsko-russkiy slovar'* (キルギス語-ロシア語辞典). Moskva: Sovetskaya Entsiklopediya.
- アクマタリエワ ジャクシルク 2009. 「キルギス語の授受を表す補助動詞について」東京外国語大学 1-20, 『日本研究教育年報 14』.
- アクマタリエワ ジャクシルク 2010. 「キルギス語(データ: 「アスペクト」), テーマ企画: 特集 「アスペクト」)」東京外国語大学 338-347, 『語学研究所論集 15』.
- アクマタリエワ ジャクシルク 2011. 「キルギス語(データ: 「モダリティ」), テーマ企画: 特集 「モダリティ」)」東京外国語大学 203-209, 『語学研究所論集 16』.